

2021 年 11 月 17 日

事業提案書要約（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ベナン共和国
2. 事業名	家庭学習の手引きと家庭学習確認表を活用した小学校と家庭の連携による地域包括的な家庭学習習慣の定着促進事業
3. 事業の背景と必要性	ベナン共和国では 2006 年から小学校 6 年間に無償化されたが、就学者の激増に対して、学校は依然十分に対応できず、小学校を修了できない児童がいる。事業対象地域周辺の小学校を対象にした調査で、留年、退学の直接原因は登校日数と学習熟度であり、背景には貧困、出稼ぎ等による不安定な家庭の学習環境があることが分かった。調査対象校は貧困、学校インフラ整備等の対策に加えて、家庭学習の改善が、有効な留年、退学対策だと認識していた。本事業では、配布するノート、家庭学習の手引きと確認表の活用により学校と家庭の連携を促進し家庭学習の定着を図る。
4. プロジェクト目標	モノ県コメ市ウエデメペダ区の小学生に家庭学習の習慣が定着する
5. 対象地域	モノ県コメ市ウエデメペダ区
6. 対象地域を管轄する大使館及び領事館	在ベナン日本国大使館
7. 本事業の対象となる人々	ウエデメペダ区の公立小学校 7 校の全児童 1,800 名程度、教員 40 名程度、保護責任者（両親のみを指していない）1,800 名程度
8. 事業活動	<p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭学習に対する地域の関心を関係者との定期協議により醸成する 2. 実態把握調査を通じて、家庭学習に対する学校と家庭の役割を定め、家庭学習の手引きと確認表を作成し具体化する 3. ガイダンスマニュアルを作成し、ガイダンスと保護者会を実施して、児童の家庭学習のための支援に対して家庭の理解を深める 4. 家庭学習確認表と配布するノートの児童の使用状況の随時確認により、教員の児童の家庭学習状況に対しての理解が深まる 5. 児童の家庭学習を教員が評価と支援するための機会を側面支援する
9. 実施期間	（西暦）2022 年 4 月 ～ 2024 年 7 月（2 年 4 ヶ月）
10. 事業費概算額	10,000 千円
11. 事業の実施体制	<p>日本側実施団体：</p> <p>特定非営利活動法人ル・スリール・ジャポン</p> <p>現地カウンターパート：</p> <p>コメ市の視学官事務所（CS：Circonscription Scolaire）</p>
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人ル・スリール・ジャポン
2. 活動内容	西アフリカ仏語国において、現地資源への敬意と連携を重視し、ハード、ソフト支援にこだわりを持たず学びの場の環境向上、構築を図る活動をしている。

（注：A4 用紙 1 枚以内にまとめてください）